

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15109007	WT1タンパクを標的にした、白血病に対する免疫療法の開発	杉山 治夫 (大阪大学・大学院医学系研究科・教授)	B
<p>translational 研究体制が未整備の本邦において癌抗原タンパクによる癌免疫治療の研究を先駆けて進めたという点では評価に値する。また、臨床試験という性格上進展に長時間を要することも理解できる。この点を差し引いても本研究は先行の WT1 ペプチド療法の予後観察を主としたものであったと言わざるを得ない。特筆すべき一流ジャーナルへの報告もみられない。</p> <p>本研究期間を通して主として臨床評価が行われているのみであり、治療効果を予測するマーカーの探索も行われていない。治療効率を高めるマーカーや非奏効例の原因検索も行われていない点も残念である。</p> <p>この研究結果は今後 WT1 ペプチド療法のみならず、他の癌抗原ペプチド療法において参考とされるべき有用な情報を提供したとも言える。また、マスコミに取り上げられて一般の癌ペプチド療法を周知した点も一定評価できる。</p>			